株主のみなさまへ

第119期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION

清水建設

株主のみなさまへ

取締役会長 宮本洋一

取締役社長 井上和幸

株主の皆様には，平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が依然として続いているなか，お亡くなりになられた方々に謹んでお悔みを申しあげますとともに，罹患された方々に心よりお見舞い申しあげます。また，医療従事者をはじめ，第一線でご尽力されている皆様に，深く敬意を表し感謝申しあげます。

ここに，第119期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）上半期の，当社グループの業績及び事業活動の概況についてご報告申しあげます。

2020年12月

INDEX

株主のみなさまへ …… 1
社長メッセージ …… 2
業績ハイライト …… 3
SDGs達成への取組みとESG経営 …… 5
新型コロナウイルス感染症対策 …… 7
シミズのものづくり …… 9
トピックス …… 11
主な完成工事 …… 13
株主優待 …… 14

社長メッセージ

新型コロナウイルス感染症の拡大は社会や経済に大きな混乱をもたらしており，未だ収束が見通せない状況です。

建設業界においては，発注者の設備投資の見直し等により国内外で受注高が落ち込み，海外の一部地域では感染症拡大の影響で中断した工事の再開目途が立たないなど，厳しい経営環境が続いております。

当社においても，社員・作業員の生命・安全を最優先事項とする感染拡大防止対策の一環として，日本政府による緊急事態宣言下で指定された「特定警戒都道府県」に所在する作業所において，一時閉所措置を講じました。現在，国内作業所では関係省庁のガイドライン及び当社が設定した安全ルールに則り工事を進めております。海外の作業所においても，感染防止体制が確立され，発注者との協議が調い次第，順次工事を再開しております。

このような状況のもと，当社グループの当上半期の連結業績は，売上高6,832億円，経常利益489億円，当期純利益383億円となり，前年同期に比べて減収減益となりました。下半期も厳しい経営環境が続くと見込まれますが，通期の業績目標達成に向け，引き続き，収益力の強化に取り組んでまいります。

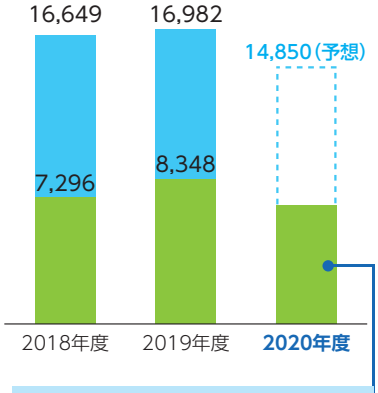
当社にとっての喫緊の課題は，感染症拡大に伴う厳しい状況を乗り切ることですが，その先では，コロナ禍で浮き彫りとなった様々な社会課題の解決を織り込んだ上で，感染症収束後の新しい常態，ニューノーマルに向けて変革を起こしていく必要があります。2019年5月に策定した長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」に掲げたとおり，当社グループは「建設事業の枠を超えた不断の自己変革と挑戦，多様なパートナーとの共創を通じて，時代を先取りする価値を創造し，人々が豊かさと幸福を実感できる，持続可能な未来社会の実現に貢献」することを目指しております。長期ビジョンの達成に向けた当社の企業努力が現下の逆境を乗り越え，持続的成長を遂げることに繋がると信じて，社是「論語と算盤」に基づいた事業活動を継続してまいります。

株主の皆様におかれましては，今後もなにとぞ相変わりませぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

業績ハイライト

連結売上高

(億円)

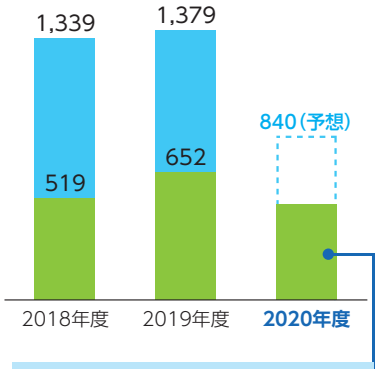


6,832億円

前年同期比
△18.2%

連結経常利益

(億円)

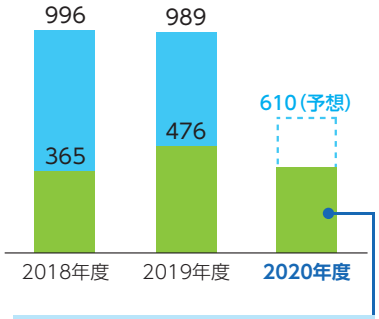


489億円

前年同期比
△24.9%

連結当期純利益※

(億円)



383億円

前年同期比
△19.6%

通期　上半期　※連結損益計算書上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

当上半期の業績について

当社グループの当上半期の売上高は，完成工事高及び開発事業等売上高の減少により，前年同期に比べ18.2%減少し6,832億円となりました。

利益については，完成工事高の減少による完成工事総利益の減少などにより，経常利益は前年同期に比べ24.9%減少し489億円となりました。当期純利益は，特別損益に保有株式の売却に伴う固定資産売却益や感染症関連損失などを計上した結果，19.6%減少し383億円となりました。

通期の業績見通し

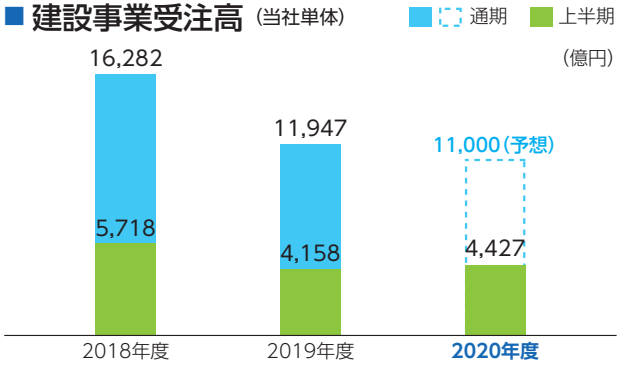
2020年度通期の連結業績は，売上高1兆4,850億円（前期比△12.6%），経常利益840億円（前期比△39.1%），当期純利益610億円（前期比△38.4%）を見込んでおります。

なお，このうち建設事業は，売上高1兆3,200億円（前期比△13.0%），売上総利益1,480億円（前期比△25.5%），非建設事業は，売上高1,650億円（前期比△8.5%），売上総利益245億円（前期比△8.9%）を見込んでおります。

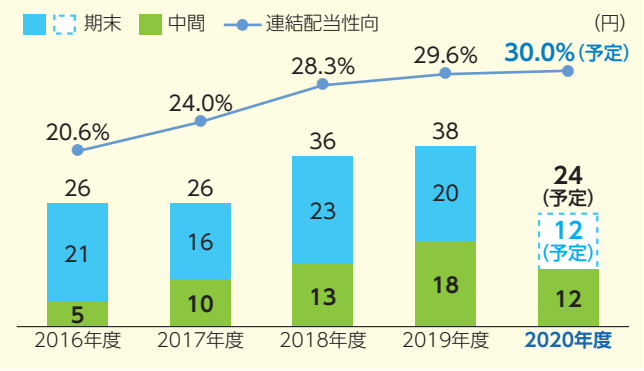
■ 事業別情報（連結）

	売上高		売上総利益	
	上半期	通期見通し	上半期	通期見通し
建設事業 国内建築事業・国内土木事業・海外建設事業	**6,109億円** 前年同期比△15.8%	**1兆3,200億円** 前期比△13.0%	**750億円** 前年同期比△15.2%	**1,480億円** 前期比△25.5%
非建設事業 投資開発事業・エンジニアリング事業・LCV事業・フロンティア事業 他	**723億円** 前年同期比△33.6%	**1,650億円** 前期比△8.5%	**120億円** 前年同期比△24.2%	**245億円** 前期比△8.9%

■ 建設事業受注高（当社単体）



■ 1株当たり年間配当金の推報



■ 主な受注工事

建築工事	プロロジス	プロロジスパーク猪名川1プロジェクト
	学校法人 大阪医科薬科大学	大阪医科大学附属病院 新本館新築工事
	浜松市	浜松医療センター 新病院整備工事 (新病院棟工事)
	学校法人 中央大学	中央大学茗荷谷キャンパス (仮称) 新築工事
土木工事	東日本高速道路 株式会社	東京外環自動車道 京葉ジャンクション Gランプ工事
	中日本高速道路 株式会社	中央自動車道 新小仏トンネル工事
	国土交通省	足羽川ダム本体建設 (第1期) 工事

その他財務情報の詳細は当社コーポレートサイトをご覧ください。

SDGs達成への取組みとESG経営

当社グループは，2019年5月にSDGsの達成期限でもある2030年を見据えた長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」を策定しました。イノベーションを通じた価値の提供によりSDGsの達成に貢献します。

また，ESG経営を推進し，事業活動を通じて社会的責任を果たすことで，ステークホルダーからの信頼を高めるとともに，中長期的な企業価値向上と持続的な成長を実現します。

地域や時代に合った働き方を実現する次世代型オフィス

※下図はいずれも完成予想図

現在，当社の東北支店と北陸支店において，新たな省エネ・創エネ技術を採用した新社屋を建設中です。

東北支店では，「シミズがつくる未来志向のオフィス」をコンセプトに，食堂から外に出られる「森のテラス」など随所にリフレッシュ空間を設けた「健康的で仕事がはかどるワークプレイス」，仙台の地域性を利用した地中熱と自然通風による「省エネルギー」，そして柱頭免震構造の採用による「災害への強靭さ」という3つの視点から，次世代型オフィスを目指しています。

2021年1月に完成予定の東北支店新社屋

従業員がリフレッシュできる6階「森のテラス」

2021年4月に完成予定の北陸支店新社屋

自然光や自然通風を取り入れたオフィス空間

北陸支店では，「北陸の地域・未来とつながるオフィスづくり」をコンセプトに，「未来につなげる新技術の採用」として，気候風土を生かした自然エネルギーの活用と当社技術研究所が産業技術総合研究所と共同開発した建物付帯型水素エネルギー利用システム「Hydro Q-BiC」の採用などにより，地域初の「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル『ZEB』※1」を実現するとともに，「働き方改革，健康増進に資するオフィスづくり」として，オフィス内部には，健康増進のため自然光や自然通風を取り入れ，WELL認証※2の取得を目指しています。

「支店社屋建て替え」地域や時代に合った働き方を実現する次世代型オフィス

※1『ZEB』：建築計画の工夫や技術によってエネルギー消費量を極力小さくするとともに，太陽光発電などによってエネルギーを自給し，建物のエネルギー消費量の収支を正味ゼロとすることを目指す建物

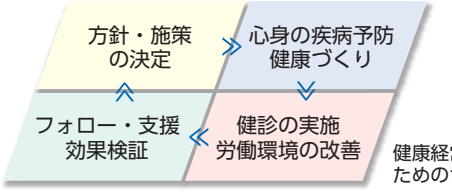
※2 WELL認証：「人の健康」の観点から建築空間のデザイン，構築，運用を評価する国際認証システム

健康経営宣言

シミズグループは，
従業員が健康でいきいきと活躍できる環境を整え，
一人ひとりの働きがいと幸福度の向上を実現します。

「従業員の活力向上，健康の保持増進」を改めて重要な経営課題として捉え，これをより一層推進するため，本年9月，「健康経営宣言」を明文化しました。一人ひとりが活躍できる企業を目指し，従業員の健康増進と，職場環境の改善に向けて，全社的な推進体制を整備し，必要な施策を継続的に実行します。

ESG経営「健康経営」



健康経営推進のためのサイクル

【具体的な施策】
- 各種健診，ストレスチェックの着実な実施
- 生活習慣病リスク者への保健指導や健康に関する教育の推進
- 喫煙対策の推進
- 長時間労働の削減
- 療養と仕事の両立支援の推進　等

サプライチェーン強化

建設作業所に不可欠な技能労働者の確保・育成策の一環で，教育・訓練施設「清水匠技塾（しみずたくみぎじゅく）」を，当社の協力会社組織「兼喜会（かねきかい）」と共同で運営しています。新規入職時研修をはじめ，スキル養成訓練，多能工養成訓練，生産性向上ツールの操作訓練など，職歴・技能レベルに応じた教育・訓練カリキュラムを提供します。

今後とも担い手確保・人材育成を促進して，建設業の社会的使命を果たしていきます。

技能労働者の教育・訓練施設「清水匠技塾」を開設

VRを用いて行う新規入職時研修の様子

地域と一体になった防災活動の推進

本社ビルが位置する東京都中央区では，大地震発生時には，時間帯によって約30万人の帰宅困難者の発生が危惧されています。

当社は中央区の要請に基づき本社ビルを「地域防災センター」として，帰宅困難者が一時的に避難できるスペースを提供します。

本年9月の震災訓練では，新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が発出された状況下で，首都直下地震の発生を想定した訓練を全社で実施。その際，中央区，近隣企業の方に参加いただき，社会的距離を確保しながらの帰宅困難者受入訓練を行いました。

帰宅困難者受入訓練の様子（本社2階シミズホール）

新型コロナウイルス感染症対策

当社グループでは，従業員及びその家族，お客様並びに協力会社・地域社会の皆様の安全確保を第一に，「新型コロナウイルス感染予防のための対処・行動」を定め，政府及び地方自治体の要請・指導を勘案しながら，感染拡大防止に努めています。

本年2月に社長を本部長とする「新型コロナウイルス対応　重大危機対策本部」を設置。重大危機対策本部と各部門間で迅速に連携できる体制を構築し，国内外において対策活動を進めています。

※本ページ及び次ページの内容は2020年9月末日時点の情報です。

当社グループのこれまでの主な対応

▌従業員の感染防止対策

社内におけるこまめな手洗い，マスクの着用，3密の回避といった基本的な感染防止対策を徹底するとともに，時差出勤やテレワークを推進しています。常設事業所においては，約50％の従業員がテレワークを実施。事業所入口ではサーモグラフィカメラの設置や非接触型体温計による検温を実施するとともに，各所にアルコール消毒液を設置しています。執務スペースや来客スペースでは，社会的距離の確保に加え，飛沫飛散防止のための透明アクリル板を設置するなど，感染防止対策を徹底しています。

▌建設作業所における対策

国土交通省のガイドライン及び当社独自の感染防止対策を，各作業所で実施しています。作業所入場時の体温測定，マスクやマウスシールドの着用，こまめな手洗い及び各所の消毒実施を基本として，作業所における各種打合せ，休憩所等での食事・休憩など，多人数が集まる場所での3密を回避するため，社会的距離の確保，パーティションの設置及び定期的な換気・消毒など，各作業所の特性に応じた感染防止対策を実施しています。引き続き，感染防止対策を徹底し，工事関係者の生命・安全を最優先事項として，作業所を運営してまいります。

本社1階入口にサーモグラフィカメラを設置

作業所朝礼は社会的距離を確保して実施

作業員休憩所にパーティションを設置

協力会社への支援

本年4月に政府から発出された「緊急事態宣言」を受け，緊急事態宣言の対象地域及び特定警戒都道府県の13都道府県に所在する当社作業所を，原則として，閉所する方針としました。閉所期間の協力会社及び作業所で働く関係者の雇用を守るとともに，工事再開後の安定したサプライチェーンを確保するための措置として，一定の休業補償を実施しました。

社会貢献

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い，医療物資が全国的に不足するなか，経済団体からの要請による対応や医療機関に対する支援として，マスクや防護服などの医療物資を寄贈しました。

ニューノーマルに向けた取組み

ニューノーマル活動の全社展開

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い，人々のウイルスへの意識が高まり，行動様式に変容をもたらすなか，当社は，企業活動においても，働き方においても，環境変化への適応を図り，新しい常態，ニューノーマルに向けて変革を起こしていく必要があると考えています。現在，ニューノーマル活動を全社的に展開。支店や作業所における一つひとつの業務を見直し，生産性の向上やパフォーマンスの発揮に繋げていきます。また，全社横断的なICT環境の整備や制度の見直しについて，迅速に施策を実行し，従業員の意識改革を促すとともに，働き方改革を実現します。

ウィズコロナからアフターコロナへ “新しい仕事のやり方”

感染リスクの低減を図りながら企業活動を維持するため，モバイルパソコンの配備やTV会議の利用など，業務のデジタル化・働き方改革への取組みを迅速に進めています。

急増するTV会議に対応するため，各会議室にTV会議システムを増設するとともに，TV会議専用個別ブースを設置。また，決裁書類の電子決裁化や社内通達文書への押印廃止を行い，ペーパーレス化の促進や書類への押印をベースとした仕事のやり方の見直しを行いました。更に，社宅や寮の一部スペースをサテライトオフィスとして利用する環境を整備し，柔軟な働き方の実現を図っています。

作業所の管理業務においても，ウェアラブルカメラやTV会議システムを利用してリモート配筋検査を行うなど，ICTを最大限に活用して，生産性の向上を図っています。

ICTツールを活用したリモート配筋検査

東京ワールドゲート　神谷町トラストタワー

再開発が進む虎ノ門エリアに，「Globalize JAPAN, Localize the WORLD（日本のエッセンスを世界に 世界のエッセンスを日本に）」をコンセプトとした，オフィス，ラグジュアリーホテル，住宅など，複合用途のビルが完成しました。国際ビジネス拠点として世界と日本を繋ぐゲート機能を担う，国家戦略特別区域特定事業に認定されたこのプロジェクトは，当社施工の複合ビルでは最大級規模です。

オフィスエントランス：「ブロンズの森」を表現し，洗練された雰囲気が漂う

緑に彩られたエントランスへのアプローチ

基準階オフィスフロア：フレキシビリティの高いメガフロアが多様なニーズに応える

建物外観

工事概要

所　在　地：東京都港区虎ノ門4-1-1
発　注　者：森トラスト株式会社
設計・監理：当社

お客様から

東京一の建物を造るという思いで臨む

森トラスト（株）
不動産開発本部
コンストラクション
マネジメント部
専門部長代理
広島 智行様

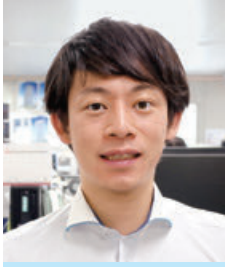
当社最大規模のプロジェクトであり，東京一の建物を造りたいという思いで臨みました。非常に難しい開発で，御社には事業性・商品性の高い設計と安全・高品質な施工を期待。皆さんが良いものづくりをしようという熱い思いを持ち，当社からの多くの要望に対して何とか応えようと対応いただき感謝しております。これから先，多くの人々にとっての憩いの場となり，にぎわいある施設となるよう願っております。

シンプルに・効率よく・スマートに

建設所長
笠間 政人

多くの再開発によって高層ビルが建ち並ぶ，国際ビジネス拠点へと変貌している虎ノ門の街に，様々な機能を持つ複合ビルが完成しました。施工にあたり，常に「シンプルに・効率よく・スマートに」を念頭に置き，作業所で行う手作業を減らすため，予め工場で製造したものを作業所で構築する「工業化」にも積極的に取り組んだ施工計画を実現。当社でも最大級規模の複合ビルを全所員，協力会社が一丸となり，完成させることができました。

街並みへの調和とランドマーク性の両立を図る



設計担当
猪股 悠

世界へ繋がる「ゲート」を表現する門型の意匠と縦格子による和の要素を取り入れた外観とすることで，街並みへの調和とランドマーク性の両立を図りました。

設計者として業務に没頭したこの5年間，同時に進む虎ノ門エリアの再開発に，街の生まれ変わりを肌で感じてきました。東京ワールドゲートが，このエリアの新たな建築・ランドスケープとして，末永く多くの人に愛される存在になっていくことを願うばかりです。

緻密な計画の重要性を学ぶ

施工担当
山岸 拓矢

現在入社8年目。担当した低層工区の工程が工事全体の鍵となっていたこともあり，大きなプレッシャーを感じていました。慎重に計画と施工を行い，現場で現物を現実に確認する「三現主義」を徹底することで，予定どおり次工程に渡すことができました。

当たり前のことを当たり前に着実に行うことで，より良い建築物を今後も造り上げていきたいと思います。

平城宮・第一次大極殿院南門を古代の工法で復原

2022年3月の完成を目指して，第一次大極殿院の正門にあたる南門の復原工事を進めています。奈良時代に即位の礼などの国家的儀式が行われていた平城宮大極殿院の復原整備事業の一環で，工事では当時使用されていた建築材料を極力使うようにしているほか，宮大工による伝統工法も用いられています。建築工事は素屋根の内部で実施し，本年9月には，古代の建築で大棟の両端につけられる飾りの一種である鴟尾（しび）の取付を行いました。

現在，3Dウォークスルー画像が導入され，現場内部をインターネットを通じて見学できるようになっています。

鴟尾（しび）の取付の様子。高さ1.5m，重さ約480kgの青銅製で，金箔が貼られている。

3Dウォークスルー画像（外部サイト）

南門を覆う素屋根（左）と大極殿（右）。素屋根は，高さ約30m，間口約50m，奥行約44mにもなり日本最大級。

東京国際空港際内トンネル他築造等工事が竣工

完成した際内トンネル

本年8月，4年の歳月を掛けた東京国際空港の国際線と国内線のターミナルを繋ぐ道路トンネルが完成しました。

本工事では，供用中の滑走路や東京モノレール羽田空港線，首都高速湾岸線などの地下に，2車線の道路トンネルを開削工法（延長約230m）とシールド工法（外径約12m，延長約1,850m）によって構築しました。シールド工事におけるAIを活用した高精度な線形管理や，プレキャスト※化などの省力化工法を積極的に採用し，難易度の高い工事を無事完遂しました。

本トンネルの開通によって，搭乗客が国際線と国内線のターミナル間の移動時間を大幅に短縮でき，乗り継ぎの効率化が期待されます。

※プレキャスト：予め工場でコンクリート部材を製作し，現場で繋ぎ合わせる工法

地域と連携したバイオマス発電事業が営業開始

信州ウッドパワー(株)木質バイオマス発電所

本年7月，長野県東御市で当社の合弁事業会社「信州ウッドパワー(株)」の木質バイオマス発電所（出力1,990kW）が稼働しました。本事業では，地元の森林において間伐等の手入れをした際に副次的に発生する曲がり材等の未利用材を燃料とした発電を行います。これにより，地方創生，林業振興，地消地産を促し，地域との間にウイン・ウインの関係の構築を実現しています。

また，発電プラントの運用を遠隔地から支援するシステムや原木の調達ルートをGPSで認証できるシステムを導入し，林業のICT化にも取り組んでいます。

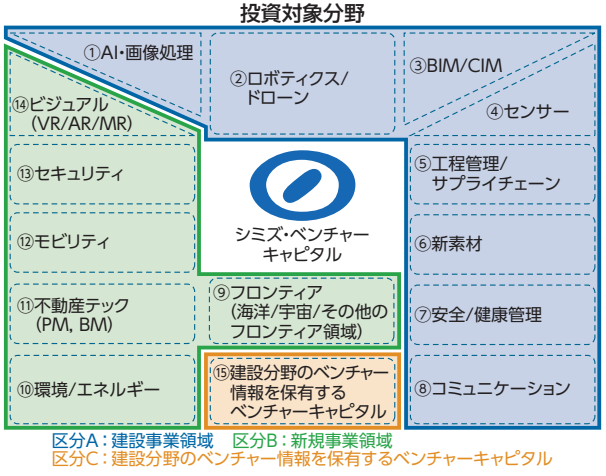
当社は，本事業をモデルに地域と連携し地方創生に寄与する形でのバイオマス発電事業を順次展開してまいります。

100億円の出資枠を設定，国内外のベンチャー企業に機動的に出資

本年4月，研究開発の強化並びに事業領域の拡大に向け，国内外のベンチャー企業やベンチャーファンドを対象に100億円を上限とする出資枠を設定しました。

7月，第一弾として，高性能無線通信技術の開発ベンチャーとして注目されている「PicoCELA（ピコセラ）(株)」に出資しました。同社との協業として実施する技術開発により，建設作業所のICT基盤の高度化に取り組みます。

今後，有望な国内外のベンチャー企業に直接，あるいはベンチャーファンド経由で機動的な出資を行い，技術実証や新たなビジネスモデルを創出する戦略的なオープンイノベーション活動を展開してまいります。



主な完成工事

WATERS takeshiba
（東京都港区）
発注者：東日本旅客鉄道株式会社

ちばぎん本店ビル
（千葉県千葉市）
発注者：株式会社千葉銀行

HOTEL THE MITSUI KYOTO
（京都府京都市）
発注者：三井不動産株式会社

B滑走路南側エプロン造成・その他設置工事
（千葉県成田市）
発注者：成田国際空港株式会社

株主優待

株主優待品の贈呈

2021年3月期の株主優待は，東京木工場製の木製グッズの受領（保有株式数に応じた株主優待メニューより1点）又は社会貢献活動団体への寄付からお選びいただけます。

スケジュール
権利基準日：2021年3月末日
申込書送付：2021年4月下旬（予定）
優待品発送：2021年7月下旬（予定）

＜2021年3月期優待メニュー＞

保有株式数	優待内容（木製グッズか寄付いずれかご選択）	
	木製グッズ（1点）	寄　付
1,000株以上 5,000株未満	干支柄（丑）コースター 2 個	社会貢献活動団体への寄付 1,000 円 寄付先： 一般財団法人 清水育英会
5,000株以上 10,000株未満	干支柄（丑）コースター 3 個 自立式ミニまな板 鍋敷き いずれか 1 点	
10,000株以上	干支柄（丑）コースター 4 個 自立式ミニまな板 鍋敷き 置き時計 スマートフォンスピーカー 写真立て 手鏡 いずれか 1 点	

＜新作木製グッズのご紹介＞

干支柄（丑）コースター

鍋敷き

手鏡

その他の木製グッズや株主優待内容の詳細は当社コーポレートサイトをご覧ください。

寄付金の使途

寄付先の一般財団法人清水育英会は，2016年3月，当社がものづくりを原点とした社会貢献活動の一環として設立した団体で，建築，土木又は都市計画等を専攻し，研鑽を積む成績優秀な学生のうち，経済的理由により学業の継続が困難である者への奨学金の給付を通じて，若手技術者の育成に貢献し，もって日本の建築・土木技術の発展に寄与することを目的としています。

一般財団法人清水育英会は，設立以後，毎年50～60名，累計214名（2020年9月末時点）の学生に対し，奨学金を給付しています。

コーポレートサイトのご案内

当社コーポレートサイトでは，「株主・投資家情報」をはじめ，様々な情報を掲載しております。
ぜひ，ご覧ください。

https://www.shimz.co.jp/

表紙写真

武蔵小金井シティクロス
（東京都小金井市）

［発注者］
武蔵小金井駅南口第2地区市街地再開発組合

株主メモ

事業年度
4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会
6月

基準日

定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711（通話料無料）
郵送先 〒137-8081　新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部

公告掲載方法
電子公告
公告掲載URL（https://www.shimz.co.jp/）
ただし，事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は，日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する各種お手続きについて
□株主様の住所変更，単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては，お取引の証券会社にお問合せください。
□特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては，三菱UFJ信託銀行（上記連絡先）にお問合せください。なお，三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
□未受領の配当金につきましては，三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

清水建設株式会社
〒104-8370　東京都中央区京橋二丁目16番1号
TEL 03-3561-1111（大代表）
https://www.shimz.co.jp/

UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

FSC
www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK